

# Adobe Firefly

# パートナーモデルについて

Adobe Support Plan | 2025.11.12

**Adobe**

# パートナーモデルとは

Adobe Firefly の画面から、アドビ以外の生成AIモデル（画像・動画など）を選択して利用できる仕組みです。Firefly アプリや Firefly Boards 上で切り替えて使用できます。

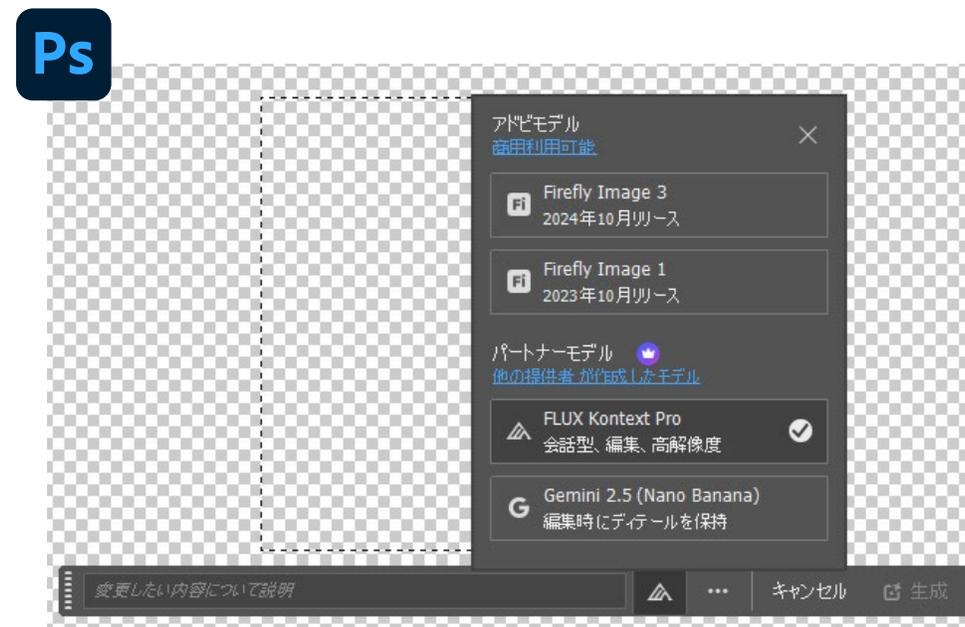
これにより、モデルごとの作風や強みを一つのワークスペースで比較・活用できます。

# 利用可能なパートナーモデル

現在利用可能なパートナーモデルは、以下サイトでご確認いただけます。

アドビ製品におけるパートナーモデル（最終更新日：2025年11月7日）

<https://helpx.adobe.com/jp/firefly/web/get-started/learn-the-basics/non-adobe-models-in-adobe-products.html>



Firefly の WEB サイトで、生成タイプ（画像・動画など）を選択し、モデル選択メニューからパートナーモデルを選びます。

Photoshop 等のアプリケーション上から、生成塗りつぶし等の機能を利用する際も、パートナーモデルを選択できます。

# パートナーモデルのIP補償 (重要)

アドビによる IP 補償の対象は、**アドビの Firefly モデル (Firefly Image ~)** を利用した生成に限られます。したがって、**パートナーモデルで生成したアウトプットは、アドビの IP 補償の対象外**となります。

- 各パートナーモデルの利用規約や、それらへの同意も含め、**パートナーモデルで生成したアウトプットを採用するか否かについては、お客様ご自身でご確認・ご判断**ください。
- なお、アドビのアプリにアップロード、または生成したコンテンツは、パートナーモデルの利用を含め、**いずれのモデルで生成した場合も AI の学習には使用されません**。
- また、パートナーモデルに限らず、「**Beta**」または「**体験版**」として指定されている機能で生成されたアウトプットも、**IP 補償の対象外**となります。
- Firefly の IP 補償については、以下のサイトをご参照ください。  
Adobe Firefly | 製品の説明  
<https://helpx.adobe.com/jp/legal/product-descriptions/adobe-firefly.html>

(1) (A) ユーザーインターフェイスでパワーアップされていると示されている、アドビが開発する可能性のある機能やアドビのトレーニングを受けていないモデルによって提供される機能、および (B) 「Beta」または「体験版」として指定された機能、あるいは「Beta」または「体験版」とラベル付けされたサーフェス内でアクセスされる機能は除外されます。機能はすべてのサーフェスで利用できるわけではありません。

→ ※パートナーモデルは、アドビのトレーニングを受けていないモデルに該当します。

# パートナーモデルの利用に際して

- パートナーモデルの生成クレジットの消費量は、選択するモデルや利用する機能により異なります。  
詳細は以下のサイトをご確認ください  
アドビ製品におけるパートナーモデル（最終更新日：2025年11月7日）  
<https://helpx.adobe.com/jp/firefly/web/get-started/learn-the-basics/non-adobe-models-in-adobe-products.html>
- パートナーモデルをアドビの Firefly で利用する場合は、アドビの生成クレジットが消費されます。
- パートナーモデルが使用できる権利を持つアドビの契約があれば、各社サイトでも生成機能を使えるわけではありません。**Firefly** パートナーモデルの利用は、アドビのアプリケーション・サービスからの利用のみに限られます。



<https://firefly.adobe.com/>

**Adobe**